

平成 29 年度の事業計画書（第 1 1 期）

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日まで

認定特定非営利活動法人 びわ湖トラスト

1. 事業実施の方針

今後、大きな変化が予想されるびわ湖およびその集水域の環境監視と保全を実施するために、設立趣旨に基づいた活動を積極的に展開する。

“湖沼及びその集水域の環境保全に関心を持つ人々と共に、調査研究の支援、環境修復の支援、情報交換の推進、環境教育の推進等に関する事業を行い、びわ湖を中心とした国内外の湖沼及びその集水域の環境保全に寄与することを目的とする（定款より）”

2. 特定非営利活動内容

事業名 (定款の事業)	具体的な事業内容	(A)実施予定日時 (B)実施予定場所 (C)従事者の予定 人・日数	(D)受益対象の範囲 (E)予定人数	収支予算書 事業費の金額 (千円) 収入 支出
湖内調査研究支援 事業	びわ湖内における調査 研究の支援	(A)随時 (B)びわ湖 (C)50人	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の 人々	(600) (600)
森林調査研究支援 事業	森や河川を保全するた めの現地調査など	(A)随時 (B)びわ湖の集水域 (C)100人	(D)(E)びわ湖の集水 域の環境に興味をもつ 不特定多数の人々	(300) (300)
環境修復支援事業	湖内における低酸素化 修復や健全な水草管理 など技術開発事業	(A)随時 (B)びわ湖 (C)50人	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の 人々	未定 未定
環境教育普及事業	琵琶湖や集水域におけ る環境にかかわる体験 学習。調査船やカヌー による湖上学習、トチ ノキ観察会、水辺写生 大会など	(A)6回程度 (B)びわ湖および その集水域 (C)1000人	(D)(E)将来びわ湖の 恵みを受ける不特定多 数の人々	16,500 16,500
環境美化事業	湖内および湖岸に投棄 されたごみの回収	(A)1回 (B)びわ湖および その集水域 (C)120人	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の 人々	未定 未定
情報交流事業	会員・市民との情報交 換・講演会など	(A)随時 (B)びわ湖および その集水域 (C)100人	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の 人々	100 100
当法人の目的を達 成するために自己	広報宣伝活動を強化し 会員数強化を図る。ホ	(A)随時 (B)びわ湖および	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の	700 700

事業名 (定款の事業)	具体的な事業内容	(A)実施予定日時 (B)実施予定場所 (C)従事者の予定 人・日数	(D)受益対象の範囲 (E)予定人数	収支予算書 事業費の金額 (千円) 収入 支出
体質の強化を図る 事業	ホームページの充実やパンフレット作成等・びわ湖文庫	集水域 (C)50人	人々	
緊急時の対応	事故や災害に備えた事業	(A)随時 (B)不特定 (C)100人	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の 人々	1,422 1,422
第1項の各事業を 支援するための事業	各事業の運営を補助し 円滑に進める支援事業	(A)随時 (B)国内全域 (C)理事・会員	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の 人々	1,422 1,422
特別会計	はっけん号の運用・管 理	(A)随時 (B)びわ湖 (C)300人	(D)(E)びわ湖の恵み を受ける不特定多数の 人々	9,823 9,241